

第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

海軍功績調査部
昭和十七年十一月十一日
昭和十七年十月三十一日

7/10

一月又日送付

十九年二月九日

1259

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	日	所
一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一			
航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	航	慶興丸	第三十二特別根據地隊
海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	武昌丸	
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	第一東光丸	
オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	第十三京丸	
オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	第十三京丸	

1283

海軍功績調査部

軍機

昭和

二十

年

十一月

月

十一

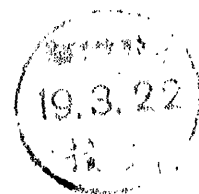
日

三月九

日送付



8/10



第三南遣艦隊戦時日誌

第三南遣艦隊司令部

1264

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(六)

自昭和十七年十月一日
至同 十月三十日
第三南遣艦隊戦時日誌

作戦及一般ノ部

一 經過
 (一) 一般情勢
 (二) 特ニ變化無シ
 (三) 敵軍ノ情勢
 (四) 特ニ變化無シ
 (五) 任務編制配備
 (六) 艦隊區分

隊名	隊番號	艦名	艦番號
	一三一	口八重山	(一) 警備隊
			(二) 水雷隊
			(三) 阿蘇丸
			(四) 第廿八長澤丸

附 属	第三十二特別根據地隊		第三十一特別根據地隊	
	一三三	一三二	一三三	一三二
	(一) 警備隊	(二) 武昌丸	(一) 警備隊	(二) 武昌丸
	(三) 慶興丸	(四) 第一號東丸	(三) 慶興丸	(四) 第一號東丸
	(五) 第十二京丸	(六) 第十三京丸	(五) 第十二京丸	(六) 第十三京丸
	(七) 興嶺丸	(八) 第二京丸	(七) 興嶺丸	(八) 第二京丸
一三九ノ二	一三九ノ一	一三九ノ二	一三九ノ一	
唐津	讚岐丸	唐津	讚岐丸	
四	三	四	三	
第三十六共同丸	第三十一航空隊	第三十六共同丸	第三十一航空隊	
外南洋航空隊	外南洋航空隊	外南洋航空隊	外南洋航空隊	
五	六	五	六	
第二測量隊	第三航空廠	第二測量隊	第三航空廠	
第三經理部	第三軍需部	第三經理部	第三軍需部	
第三工作部	第三工作部	第三工作部	第三工作部	

(二) 軍隊區分迄二主要任務
 註、慶興丸八十月八日敵沈没ト交戦沈没ス

西菲 部 隊 島	主 隊	區 分	
3KF		指 揮 官	
31AB9 司令官			
31AB9 警備隊 司令官 木曾丸阿蘇丸		兵 力	八重山、唐津
二警備		主 要 任 務	全作戦支援 担任区域、 一敵掃蕩作戦

第百三建築部	第百三病院
第百三刑務所	第百三遺艦隊軍法會議
マニラ地方海軍運輸部	バオ才地方海軍運輸部
第百三海軍々用郵便所	

<p>東 菲 部 島 隊 島</p>	
<p>官 長</p>	
<p>32a87 司令官</p>	
<p>32a89 司令部 警備隊 武昌丸 慶興丸 併一辨東丸 併十二京丸 併十三京丸</p>	<p>興嶺丸 併二京丸 併十八長運丸 併二十一長運丸 併五十五播州丸 併三十一通信隊 併二併十七回航艇</p>
<p>担任区域 一 敵掃蕩作戦 二 警備 三 主要港湾ノ防備 四 海上交通保護 担任区域 (機密 菲島部隊司令官 兼任 菲島部隊司令官) 菲島西部隊担任区域線 以北ノSKF担任区域</p>	<p>担任区域 三 主要港湾ノ防備 四 海上交通保護 担任区域 (機密 菲島部隊司令官 兼任 菲島部隊司令官) フスハラ 島南東端、カスルエ 岬及ハナオ 島南西端、ノソ岬 ヲ結フ五八度(二三八度)線 以南ノSKF担任区域</p>

(通) 前月より引続キ今一兵力割畧ニ依リタルモ十月二

附 隊 隊 属		補給部隊
直 率		
百三航空廠 百三經理部 百三軍需部 百三工務部 百三建築部 百三病院 百三刑務所 マニラ地方運輸部 マニラ地方運輸部 併三南運艦隊軍法會議 併四十三軍用郵便所 併三氣隊隊マニラ支隊	笠置山丸	補給
各担任業務		

區分	指揮官	兵力	主要任務
掃蕩部隊	八重山艦長	八重山 唐津 武昌丸 日南丸 日末丸	一) 敵艦形ノ拿捕撃滅 二) 敵兵匪ノ海上移動並ニ脱走 阻止及之ガ撃滅 三) 陸軍兵力ノハザル離島並ニ海岸ノ敵基地覆滅 四) 要スル場合陸戦ニ協力陸軍ノ海上輸送支援

十月(癸)勤時機ニヨリ十二月末迄ヲ目途トシ一部兵力ヲ以テ第十四軍第十一獨立守備隊ト協同ニヲヤ(諸島)ニ於ケル残存敵兵匪ノ撃滅作戰ノ行ヒ兵力部署ノ左ノ通定ム

職	主務	官	氏名	記
司令長官		中將	杉山 六藏	
参謀長		少將	近藤 恭一郎	
機関長		大佐	野口 六郎	
軍醫長		大佐	木村 正雄	十一月十日着任

(一) 職員官氏名

(二) 作戦指導
 十一月二十日「ビサヤ」地方戦定作戦開始。旗艦八重山、同十六日「マニラ」湾岩敷。常艦隊掃蕩部隊ヲ以テ陸軍第一獨立守備隊ニ協力、「ビサヤ」地区掃蕩作戦ヲ指導ス。

(三) 戦備及政策事項
 特記スベキ事項ナシ

(四) 人員ノ現状
 司令部

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日 所 籍 名
																														八重山
																														唐津
																														三十一 井同丸
																														笠置 山カ

四参考
(イ) 麾下艦船部隊ノ行動

日名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇
武昌丸	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ
度興丸	作戦航海中																													
野東丸	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ	ガニアボンザ
十三京丸	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ
十三京丸	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ	タバオ

1278

軍機

海軍調査科

第三南遣艦隊機密第八號

昭和十七年十一月三日

7/10

三月五日送付

第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

19.4. 5

1277

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

自昭和十七年十二月起第三南遣艦隊戰時日誌

依戰及一般ノ部

一 經過

(1) 一般ノ情勢

特ニ變化ナシ

(2) 敵軍ノ情勢

特ニ變化ナシ

1278

(一) 艦隊区分
(二) 任務編制配備

隊名	隊番號	艦船(隊部隊)番號
第三特別根據地隊	一三二	警備隊 (一) 阿蘇丸 (三) 第五長軍丸 (五) 興嶺丸 (七) 第三通信隊 (九)
第三特別根據地隊	一三三	警備隊 (一) 第三京丸 (三) 武昌丸 (二) 第十三京丸 (四)
第三十六共同丸	一三九	唐津

(二)

護送船八十二月一日阿當艦隊より除かれ海軍省附屬となる

附 録	
五	四
第三百三航空廠 第三百三經理部 第三百三軍需部 第三百三製作部 第三百三建築部 第三百三病院 第三百三刑務所 第三百三遊艦隊軍法會議 マニラ地方海軍運輸部 ババオ地方海軍運輸部 第四百三海軍専用郵便所	第九五四航空隊

(三)

軍隊區分並ニ主要任務

前月ヨリ引續キ全一兵力部署ニ依ル

(二) 作戰指導

(一) 敵匪掃蕩作戰並ニ海上交通保護作戰實施

(二) 十二月八日太田新司令官マヨニ於テ着任
同日杉山旧司令官官退任

(三) 七ヤ掃蕩作戰(セブ島及ボルネール島方面ノ陸戰協力)

日 時 全 期 間
参加兵力 八重山武昌丸

(四) 敵潜水艦利用基地掃蕩

日 時 一、二、三、
武昌丸 唐津

(五)

バシリン島ガボアガハロ敵艦掃蕩

日時

一三、中旬

参加兵力

一號東光丸ガボアガハロ派遣隊

(六)

リングエン沖出現敵潜水艦攻撃手

日時

一三、二二、二三、二六

参加兵力

十三月二十日 阿蘇丸
十三月二十三 阿蘇丸 第三京丸

戦果

敵潜一隻 軽子沈 確寶

(七)

海軍交通保護

マニラ出入港船舶概数

艦艇 依ル直接護衛隻数

破害 十、シ

入港 六八隻 出港 七五隻

約 四三隻

(木) 戦備及政策事項

北島内各地所在物資ハ漸次逼迫ノ兆アリ
物價毎漸次騰貴シツツアリ

作戦資材軍需物資現地調達ニ關シ考慮ヲ要スルモト
認ム

人員現狀
司令官部
職員官氏名

職	主務	官	氏名	記
(旧)司令官		中將	杉山 六藏	十二月一日補任
(新)司令官		少將	太田 泰治	十二月八日補任
参謀長		少將	近藤 泰一郎	十二月八日補任
参謀	首席	大佐	石畑 四郎	十二月六日補任
機關長		大佐	野口 六郎	
軍醫長		医大佐	木村 正雄	
主計長		主大佐	奥 三二	
参謀		大佐	鮫島 志下直	十二月一日補任
砲術		中佐	花岡 雄二	十二月二十二日補任
副官		少佐	福島 榮吉	
機關		同	福田 宗正	

兼司令部内	同	同	同	同	同	同	同	司令部附	同
法務官	掌櫃長	掌櫃長	掌櫃長	康政長				情報	通信
法務大尉	同	兵曹長	少尉	主少尉	同	主中尉	医大尉	大佐	同
伴藤一郎	宍戸里次郎	關根時藏	早川岩吉	横山平之	檜垣徳太郎	石川忠夫	杉静男	竹下志計理	原田徳

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
八重山	セ	セ	マ	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海
唐津	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル
三六共同丸	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル	マカウサル
笠置山丸	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港	八幡港

四参考
(1) 艦下艦船部隊

三	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	三二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	日
キヤ ビラ	キヤ ビラ										キヤ ビラ										航海中	水曾丸									
航海中	航海中										航海中										航海中	阿蘇丸									
航海中										航海中										航海中	大長軍丸										
航海中										航海中										航海中	三長軍丸										
航海中										航海中										航海中	五長軍丸										
航海中										航海中										航海中	五長軍丸										
航海中										航海中										航海中	興嶺丸										
航海中										航海中										航海中	第二京丸										

第三十一特別根據地隊

三	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	日	
海航 (保護船)																																

1230

軍機

海軍省所管

第三南遣艦隊機密第

號

自昭和十八年

一月三十一日

三月二十日送付

6/8

19.4.5

第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

目次

一 經過

二 人員ノ現状

三 令達報告等

四 參考

(一) 麾下艦船部

(四) 戰訓

五 作戰經過概要

(目次終)

昭和十八年三月三日 第三南遣艦隊戰時日誌
作戰及一般ノ部

一 經過
(1) 一般ノ情勢

特ニ變化無シ

(2)

敵軍ノ情勢
敵陸兵ノ進、策動アリ、隊相互間ノ連絡抗戰
部隊ノ編制等漸次組織具體化シアリ

敵潛位置 比島近海ニ未没ス

(一) 任務編成配備

艦隊區分

隊名	隊番號	艦名 (隊部) 番號
第三十一 特別根據地隊	一三二	(一) 警備隊 (二) 米曾丸 (三) 阿蘇丸 (四) 第八長運丸 (五) 第三長運丸 (六) 第五播州丸 (七) 興嶺丸 (八) 第二京丸 (九) 第三通信隊
第三十二 特別根據地隊	一三三	(一) 警備隊 (二) 武昌丸 (三) 第一號東光丸 (四) 第十三京丸 (五) 第十三京丸

附屬

<p>三九二 三九三 三九四 三九五</p>	<p>唐津 第三十六共同丸 第九五四海軍航空隊 第二測量隊 第百三海軍航空廠 第百三海軍經理部 第百三海軍帶部 第百三海軍工務部 第百三海軍建築部 第百三海軍病院 第百三海軍刑務所 第三南遣艦隊軍法會議 マニラ地方海軍運輸部 ババ才地方海軍運輸部 第四十三海軍軍用郵便所</p>
------------------------------------	---

(二)

軍隊區介迄ニ重要任務
前月ヨリ引續キ全兵力部署ニ依ル

(一)

作戰指導
敵潜水出現漸増、之が攻撃致ニ敵潜水基地調査
ノ徹底覆滅ニ努ム

(一) マニラ 西方洋上出現 敵潜水艦攻撃

日時

自一月一日
至一月四日

参加兵力
阿蘇丸 興山丸 二京丸 九五四空
戦果
敵情ヲ得ズ

(二) ビヤ掃蕩作戦

日時

一月半旬

参加兵力
八重山 唐津

(三) 敵潜水艦基地調査覆滅

日時

自一月九日 興山丸 六子島及バラック島方面調査
自一月十五日 阿蘇丸 六子島東岸及ホリ口島方面
至一月二十日

(四)

ベルデ水道出現

敵潜水艦攻撃等

日時

自二月二十七日

参战兵力

二京丸 興山丸 木曾丸 長運丸 九五四空
敵ヲ捕捉スルニ至ラズ

(五)

海上交通保護

マニラ出入港船舶概數

入港四八隻 出港五一隻

艦艇ニ依ル直接護衛隻數

約四七隻

被害

坐礁一隻 (すまとら丸)

(六) 戦備及政策事項

特記スベキ事項無し

三二	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
馬公	高橋			ラニマ		航海中		ブセ																							八重山
エスタンヤ洋				エスタンヤ洋																											唐津
																															三ノ共回丸
中海航				ダバオ																											笠置山丸

日(イ) 艦下艦部隊

日	所	船名	航路	備考
三	阿蘇丸	第三十一根據地隊	航海中	
二	木曾丸	第三長運丸	航海中	
一	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
二	木曾丸	第三長運丸	航海中	
三	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
四	木曾丸	第三長運丸	航海中	
五	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
六	木曾丸	第三長運丸	航海中	
七	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
八	木曾丸	第三長運丸	航海中	
九	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
十	木曾丸	第三長運丸	航海中	
十一	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
十二	木曾丸	第三長運丸	航海中	
十三	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
十四	木曾丸	第三長運丸	航海中	
十五	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
十六	木曾丸	第三長運丸	航海中	
十七	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
十八	木曾丸	第三長運丸	航海中	
十九	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
二十	木曾丸	第三長運丸	航海中	
二十一	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
二十二	木曾丸	第三長運丸	航海中	
二十三	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
二十四	木曾丸	第三長運丸	航海中	
二十五	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
二十六	木曾丸	第三長運丸	航海中	
二十七	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
二十八	木曾丸	第三長運丸	航海中	
二十九	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	
三十	木曾丸	第三長運丸	航海中	
三十一	阿蘇丸	第三長運丸	航海中	

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
所	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	第二十二	第二十三	第二十四	第二十五	第二十六	第二十七	第二十八	第二十九	第三十	第三十一
船名	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	第二十二	第二十三	第二十四	第二十五	第二十六	第二十七	第二十八	第二十九	第三十	第三十一
目的地	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	第二十二	第二十三	第二十四	第二十五	第二十六	第二十七	第二十八	第二十九	第三十	第三十一
備考	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	第二十二	第二十三	第二十四	第二十五	第二十六	第二十七	第二十八	第二十九	第三十	第三十一

1301

軍機

海軍功績調査科長

第三南遣艦隊機密印

自昭和十八年二月一日
至昭和十八年二月一日

三月二十一日

7/8

1942

第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

目次

一 經過

二 人員ノ現状

三 令達報告等

四 參考

(イ) 麾下艦船部

(ロ) 戰訓

五 作戰經過概要

(目次終)

(二) 作戰指導

(一) マニラ湾口出現敵潜水艦攻撃

(1) 日時 自二月三日 至二月六日

戦果 阿蘇丸 三京丸 五十六播州丸 九五四空
敵情ヲ得ズ

(2)

日時 自二月十一日 至二月十五日
参加兵力 興嶺丸 阿蘇丸 八長運丸 三京丸 木曾丸
戦果 十曾興嶺丸 マニラ湾口ニテ敵潜一隻ヲ確
實ニ撃沈ス

(三) 本島附近掃蕩

日時 二月九日
参加兵力 武昌丸 及 夙

戰果
被害

遺死五
射殺約三〇
戰死一
重傷一

(三) 二月二十日第三十特別根據地隊解隊 新第三十敬告備隊之編成
セラレ、マニラ附近及呂宋島主要地ノ警備並ニ港灣防備ニ任
ゼシム

(四) 二十七日ヨリ、スル諸島方面賊定作戦開始

(五) 海上交通保護

マニラ出入港船舶概數 入港四五隻又 出港五一隻
直接護衛隻數 飛行機ニ依ルモノ約二六隻 艦艇ニ依ルモノ約二〇隻
被 害 大破一隻 (宝永山丸)

二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一
航海中 八三〇									航海中 二〇〇	高雄 二五〇					公		馬										
セ ブ 二六〇									航海中 一五三六																		
航海中 四五六									航海中 一五五七																		
航海中 七三〇																											

四、参考
(1) 麾下艦隊行動

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	
武昌丸	基	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海
第一號東光丸	マルソ	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海	航	海
第十二京丸	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ
第十三京丸	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ	ダハオ

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三十一			
興嶺丸																																		
第二京丸																																		
第三長運丸																																		
第五播州丸																																		
第十八長軍丸																																		